

令和7年度 第1回中津川市子ども・子育て会議 会議録

日時	令和7年6月24日（火） 19:00 ～ 20:10
場所	市役所 会議棟2階 大会議室
出席	<p>■子ども・子育て会議委員 18名</p> <p>栗岡委員、橋本委員、曾我委員、小栗委員、市岡委員、浦田委員、古田委員、小川委員、田島委員、大橋委員、中村委員、丸山委員、神谷委員、小林委員、水野委員、掘尾委員、志津委員、林委員</p> <p>■中津川市</p> <p>早川医療福祉部長、原医療福祉部次長、安江幼児教育課長、熊谷健康課長、曾我こども家庭課長、健康課 良雪、こども家庭課 纈纈、木野</p>
内容	<p>1 委嘱書交付</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 委員紹介</p> <p>4 委員長、副委員長の選出</p> <p>5 議事</p> <p>(1) 中津川市子ども・子育て会議の役割について【資料1】</p> <p>(2) 第二期中津川市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の実績報告【資料2・別紙】 ・重点事業、推進事業の実績報告【資料3】 <p>(3) 第一期中津川市こども計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度の取り組み【資料4】 <p>6 閉会のことば</p>

<会議録（要旨）>

1 委嘱書交付	(市長から選出された委員に委嘱書を交付)
2 あいさつ (市長)	令和7年度、8年度の子ども・子育て会議がスタートします。昨年度は、この会議で中津川市のこども計画の審議をいただきありがとうございました。この計画を作るにあたり、市民のみなさんや子育て世代に分かりやすいようにとアドバイスをいただきました。「こどもたちの笑顔を育み ワクワクする未来へ進みつづけるなかつがわ」という基本理念に基づき計画が成り立っています。この計画を進めるなかで、今後「中津川市こども計画」の進捗状況の確認、また子育て施策全般について皆様のそれぞれの立場で意見をいただきたい。
3 委員紹介	(委員名簿、席次表にて紹介)
4 委員長、副委員長 の選出 (事務局)	<p>(委員：事務局一任)</p> <p>事務局から提案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員長 小中学校校長会選出 中村委員 ・副委員長 主任児童委員会選出 田島委員 <p>(委員：異議なし)</p>

5 議事	
(1) 中津川市子ども・子育て会議の役割について【資料1】 (資料1について事務局が説明)	
委員長	ご意見、質問はありますか。
委員	(なし)
(2) 第二期中津川市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の実績報告【資料2・別紙】 ・重点事業、推進事業の実績報告【資料3】 (子ども・子育て支援事業計画、資料2、3について事務局が説明)	
委員長	ご意見、質問はありますか。
委員	病児保育事業でいろいろな工夫をされ、利用者が大幅に増加したとのこと。このような報告は非常に良いと感じる。ここに上がっている事業は必要なことで、やるべき事業と思っているが、いかにソフト面で市民にとって利用しやすいかが重要。今後、より充実していくと良い結果報告ができると思い、意見とさせていただきます。
委員	病児保育は令和6年度から民営化となり、どんな空気か、これからの傾向などどうかんじているか聞きたい。
委員	令和6年度から運営を受託している。実績としては市の直営と比べ233%の増。分かったことは、ニーズがあるということ。核家族化や、祖父母がいても働いており、預けられないなどで、保護者が会社を休んで対応していた。直営時よりも使いやすくなったことが利用増加の要因ではあるが、まだまだニーズはあると感じている。もっと使いやすい病児保育を目指している。子育て家庭の環境は変わってきている。核家族化は進んでいる。だから何かしらの形で支援が必要と思う。市と連携し、より良くしていきたい。
(3) 第一期中津川市こども計画について ・令和7年度の取り組み【資料4】 (中津川市こども計画、資料4について事務局が説明)	
委員	小学校統合の際には、学童の人数も検討していただきたい。落合と神坂の統合があるが、小学校が統合されれば、現在学童がない神坂の児童も利用することになる。落合学童は、すでにいっぱいなので小学校統合と同じように検討をお願いしたい。
事務局	学童保育は、令和7年度から所管が教育委員会に移った。学校統合と同じ教育委員会の部署で進めていくことになるので、十分調整をしながら進めていくと考えている。
委員長	保護者の皆さんが日頃子育てや学校のことで、きづいていることなどあれば聞かせてください。
委員	こどもが支援クラスに通っている。公立園で支援クラスは預けられる時間が8:30~15:30と決まっている。そうすると、9時に出勤し3時に退社となり、一般的な企業だと時短勤務ができない時間になってしまう。共働き世帯が増えている中で、預けられる時間の延長を考えてほしい。妻は正社員で働いていたが、契約を解除し、契約社員のような形で雇ってもらっているという状態になってしまった。その辺りも含めて支援クラスの時間を増やしてもらえると嬉しい。

事務局	そのようなご意見は毎年いただいている。支援クラスに入る際に説明をさせていただいているが、こどもの負担を考え、短時間をお願いしている。ただ、保護者の働き方を変えてまでというところは各家庭に負担を与えているところ。職員体制も考える必要があるので、少しずつできることから始めていくよう考えている。ここで報告ができるとうまい。
委員	今の意見はとても大切な話と思う。やはりニーズや状況が多様化しているので、それを支えていく必要があると思う。今のような意見をここで伝えてほしい。今自分たちがやらなければならないことは、あきらめるのではなく、発信していくこと。我慢している人が多いと感じているので。前回保護者の意見を言える場を設けてもらったが、ここが活発な意見交換の場になると良いと思っている。代表という意味でも保護者の声を届けて一緒にやっていきたい。
事務局	昨年度、保護者の皆さんは、このような場が慣れないこともあり、発言しにくいということで、別で分科会のようなものをひらき、たくさん意見をいただいた。実際に子育て中の皆さんの声を聴き今回の計画ができた。表現の仕方が固く伝わらないとか、遠方の妊産婦の補助もこの会議の後押しがあつて実現したという経緯もある。どんな意見でもよいので聞かせてほしい。皆様の意見を取り入れるような体制で頑張りたいと思っている。無理なことはそのような答えになるし、できることは努力させていただく。我慢してしまうことはしないで、その意見にできるだけ答えていきたい。今回は1回目で緊張もあると思う。今後の会議の中で聴かせていってほしい。
委員	不登校の対応（いじめや不登校の対応 校内教育支援センターの整備）で「希望する全ての学校」という「希望する」はあり得ない。 もう一点、餃子の王将の夏休みの50食弁当を配布するという事業の説明を聞きたい。
事務局	夏休みのこどもの居場所づくりということで、餃子の王将さんが、こども食堂などを利用しているお子さんに、弁当を提供するというもの。こども食堂などに限りますが、1日50食まで昼食を提供していただけるという事業が行われます。
委員	公立幼稚園で夏休みの預かりを増やしたと聞いたが、もう少しあるとうまいと思う。小学生も学童を使うほどではないが夏休みが困るので。
事務局	預かりの日を限定しているという認識がなかった。職員体制の面もあると思うが、幼稚園へ確認して回答します。
委員	令和8年度から始まる「こども誰でも通園制度」についての説明をお願いしたい。
事務局	令和8年度から始まる制度で、0歳から3歳までのお子さんが月に10時間まで通園できるというもの。今年度試行運用している自治体があり、それを踏まえ来年度から中津川市も実施していく。
委員	中津川市はさまざまな施策を行っていると感じている。子育て家庭が多様化するなかで、子育て支援とともに、各家庭の養育力の向上に対する施策も必要と感じる。その二つの施策にバランスよく取り組むことが、こどもの最善の利益につながると思う。 また、こどもはどんなに小さな子でも考えを持っている。どのような形でこどもの意見を吸い上げていくかを考えていかないといけない。

事務局	こども計画を策定する際には、小学5年生と中学2年生の全員にアンケート調査を行った。今後も生徒会サミットなどこどもの考えを聴いていく場を大切にしていきたい。
-----	---